

事例3-1

取組名	地区行事への移行による町会運営の負担軽減		
町会名	うずはし 埋橋町会（第三地区）	町会 データ	・人口／266人 ・世帯数／125世帯 ・高齢化率／33.1％ ・町会加入数／102世帯 ・隣組数／14組
取組概要	○ 町会独自に開催していた文化祭を中止し、地区行事（作品展）に合流 ○ 行事開催に係る役員負担の軽減を図りつつ、町会住民の作品出展の場を確保		

背景・課題

- ・ 住民の高齢化、町会活動への関心低下などを要因として、町会行事への参加者は減少傾向にあり、文化祭についても、参加者・出展者が減少、固定化する傾向にあった。
- ・ 役員や行事協力者の高齢化により、行事の実施に係る負担感も増大していた。

経過・取組内容

- ・ 文化祭は、毎年10月に開催。作品展示、調理振る舞い、農産物販売、カラオケ大会などを内容とし、作品展示は、町会女性部の作品や小学生の作品などを展示していた。
- ・ 役割分担については、町会三役と町内公民館長が準備・企画・運営を担うほか、各組長と公民館部員が出展作品の募集、女性部が調理振舞いを担当していた。
- ・ 上記のとおり、参加者の減少や固定化、役員の負担感が問題となる中、新型コロナウイルス感染症が拡大。密を避けるため、役員会において文化祭の中断を決定した。
- ・ ただし、趣味などで作品を制作している住民の発表機会を確保するため、地区行事（作品展）への出展を呼びかけることとした。
- ・ もともと町内文化祭に出展した作品を、11月の地区作品展に出品するという流れはあったため、移行はスムーズであった。
- ・ なお、調理振舞い等を担当していた女性部については、代表者から後継者が見つからず、活動も縮小していたことからR7年度末に解散予定

成果・今後の展望等

- ・ 役員の負担軽減になった。特に町内公民館長と組長、公民館部員の負担が軽減された。
- ・ 地区の作品展への参加による負担（動員、出品依頼等）は生じているが、町会住民の文化的な活動の場を確保することは必要であるため、今後も協力していく。
- ・ 現状の町会住民の負担や体力を踏まえると、地区行事への切替えができたことは良かったと考える。
- ・ コロナによる活動制限の解除以降、文化祭を復活するという案は現段階ではなく、防災などその他の活動へ注力することを検討していく。

【ポイント】

- ▼ 町会行事を単に中止するだけでなく、代替案を提示することで、住民の活動の場を保障
- ▼ 町会で担えないことは「地区」と連携